

すくすく



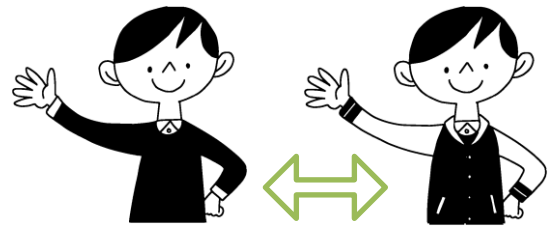
令和6年11月18日（月）特別号

：～～：* 冬の服装について *：～*～：*

11月も後半となりました。平年よりも暖かい日がありますが、体が震えてしまうほど寒い気温の日もあります。中部っ子の皆さんが健康・安全に学校生活を送ることができるよう、冬の服装について確認していきましょう。

① 上着で体温調節をする。

学校でも暖房機器を使用していますが、教室が温まるまで時間がかかります。また、感染症対策で小まめな換気も行っていますので、人によっては寒いと感じて



しまうときがあります。そのようなときに厚手のコートやジャケットを羽織るのではなく、それよりも薄手のカーディガンやセーター等で体温を調節しておくとい良いでしょう。

② 安全上、マフラーは使用しない。

マフラーは、端を踏んづけたり引っかかったりして事故につながる危険性があります。首を温める際はネックウォーマーや首元がしまったタイプの服を選ぶようにしましょう。

③ 原則、教室ではコートやジャケットを脱ぐ。

コートやジャケットは、屋外で寒さを防ぐための物です。暖房を入れている教室内では、基本的に脱いで生活することが望ましいです。同様に、教室内では手袋とネックウォーマーも外しましょう。教室内で寒さを感じる場合の対応として、①にも書きましたが、カーディガンやセーターを用意しておくとい良いでしょう。



④ カイロは各自で管理し、学校へ捨てていかない。

体を温めるために、カイロを使用したいという人もいます。貼るタイプも貼らないタイプも、使い方をしっかりお家の人と確認して、正しく使用しましょう。特に貼らないタイプを使う人は、落とさないように注意してください。使い終わったカイロは、家で捨てましょう。

保護者の皆様へ

脱いだコートやジャケットは、各クラスに配付したハンガーラックで管理します。御家庭でハンガーを一つ用意し、学校へ持ってきてください。ハンガーは紛失防止のため、コートやジャケットをかけても見える位置に、記名をするようにしてください。